学校番号	J3026

令和８年度　道徳

学年	1	週授業コマ数	1	授業時数(45 分)		標準授業時数(50 分)	○
使用教科書	「新訂　新しい道徳１」　（東京書籍出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

水都国際中学校では、日本人教員のみならず、ネイティブ教員も含む全教員が道徳科の授業を担当し、生きる上で必要な様々な価値を、多様な文化的背景を持つ教員の言葉と思いを通して伝えていきます。みなさんもそれらに対し真剣に考え、自分自身の言葉で思いや考えを周囲の人に伝えて下さい。そして、この授業を通して、クラスメイトと共に、自他の生き方について考えるきっかけとしていきましょう。

2　学習の到達目標

道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、
道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法 知(a)	思(b)	主(c)
1学期	【新しいものを生み出すときに】 1「どうせ無理」という言葉に負けない A(5)真理の探究、創造	左記の価値について、その価値の意味や重要性、実現をするための方法、意見の分かれる所について議論し、それぞれの学びの振り返りを行う。 なお、扱う価値については順不同。				
	【公共の精神とは】 2 本が泣いています C(12) 社会参画、公共の精神					
	【挨拶で心をつないで】 3 朝市の「おはようございます」 B(7)礼儀					
	【誰に対しても公正な社会を実現するために】 4 いじめに当たるのはどれだろう C(11)公正、公平、社会正義					
	【自ら善悪の判断をするために】 5 傍観者でいいのか A(1)自主、自律、自由と責任					
	【相手を認めるには】 6 風評被害 B(9)相互理解、寛容					

	【安全な生活のために】 7　山に来る資格がない A(2)節度、節制					
	【情報モラルと友情について】 8　SNS に友達の悪口を書くと B(8)友情、信頼					
	【誇りを持って働くために】 9　新しいプライド C(13)勤労					
	【住みよい社会を実現するための決まりとは】 10　父の手作りのベンチ C(10)遵法精神、公徳心					
	【世界の中で生きていくには】 11　山岳民族の文化を守る C(18)国際理解、国際貢献					
	【思いやりとは】 12　見えない親切 B(6)思いやり、感謝					
	【自分のいのちを見つめて】 13　いのちって何だろう D(19)生命の尊さ					
	同和問題（部落差別について） B(9)相互理解					
	いじめについて考える B(9)相互理解					
	障がい者理解 B(9)相互理解					
2 学 期	【かけがえのない命のために】 14　決断！　骨髄バンク移植第一号 D(19)生命の尊さ					
	【「命を守る」―いざというときに備えるために】 15　夕暮れどきの避難 D(19)生命の尊さ					
	【のびのびと個性を発揮できる集団に向かって】 16　金賞を目指して C(15)よりよい学校生活、集団生活の充実					
	【お互いを理解するということは】 17　私はここにいる―倉橋香衣 B(9)相互理解、寛容					
	【調和のある生活を送るために】 18　よごれた教科書 A(2)節度、節制					
	【異なるタイプの人に接して】 19　出会い―アンドロイドと不気味の谷 B(8)友情、信頼					
	【自分で判断し行動するために】 20　裏庭での出来事 A(1)自主、自律、自由と責任					
	【未来のふるさとを考えるために】 21　ぼくのふるさと C(16)郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度					
	【その人が本当に望んでいることとは】 22　思いやりの日々 B(6)思いやり、感謝					
	【誰もが気持ちよく過ごせる社会を目指して】 23　ごみ箱をもっと増やして C(10)遵法精神、公徳心					
	【心の弱さを乗り越える強さとは】 24　銀色のシャープペンシル D(22)よりよく生きる喜び					
	【公平に接するとは】 25　私の「ふつう」と、あなたの「ふつう」 C(11)公正、公平、社会正義					

	【自然と共生するには】 26 ぼくらの村の未来 D(20)自然愛護					
	【家族の思いに触れて】 27 靴 C(14)家族愛、家庭生活の充実					
3学期	【守り伝える日本の心とは】 28 古都の雅、菓子の心 C(17)我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度					
	【社会の一員として】 29 震災の中で C(12)社会参画、公共の精神					
	【いきいきと輝いて働くには】 30 「看護する」仕事 C(13)勤労					
	【自然の力と向き合って】 31 火の島 D(21)感動、畏敬の念					
	【自分との付き合い方を考えるために】 32 自分の性格が大嫌い！ A(3)向上心、個性の伸長					
	【苦しみの中から前に進む勇気を持つために】 33 詩画にあしたをたくして―星野富弘 A(4)希望と勇気、克己と強い意志					
	【心に郷土を刻むために】 34 郷土を彫る C(16)郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度					
	【自分に恥じない、誇り高い生き方とは】 35 いつわりのバイオリン D(22)よりよく生きる喜び					
	【助け合いの中で気づくこととは】 付録1 橋の上のおおかみ B(6)思いやり、感謝					
	【自然に対して謙虚な心で】 付録2 海の豊かさを守ろう A(2)節度、節制					
	【将来の自然と向き合うとは】 付録3 2100 年 未来の天気予報 D(20)自然愛護					
	【充実した生き方とは】 付録4 おれ、よびだしになる C(13)勤労					

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度